

2025年12月期通期 連結決算説明資料

2026年2月
シーケス株式会社

東証プライム（証券コード：7613）





- 2025年12月期通期連結決算概要
- 2026年12月期 連結業績予想
- 設備投資・減価償却費
- 今期のトピックス
- 製造技術関連
- サステナビリティに関する取り組み
- 株主還元
- バイオ抗体医薬品事業の取り組み (Renzoku Biologics)
- 免責事項

連結決算概要

- 連結損益

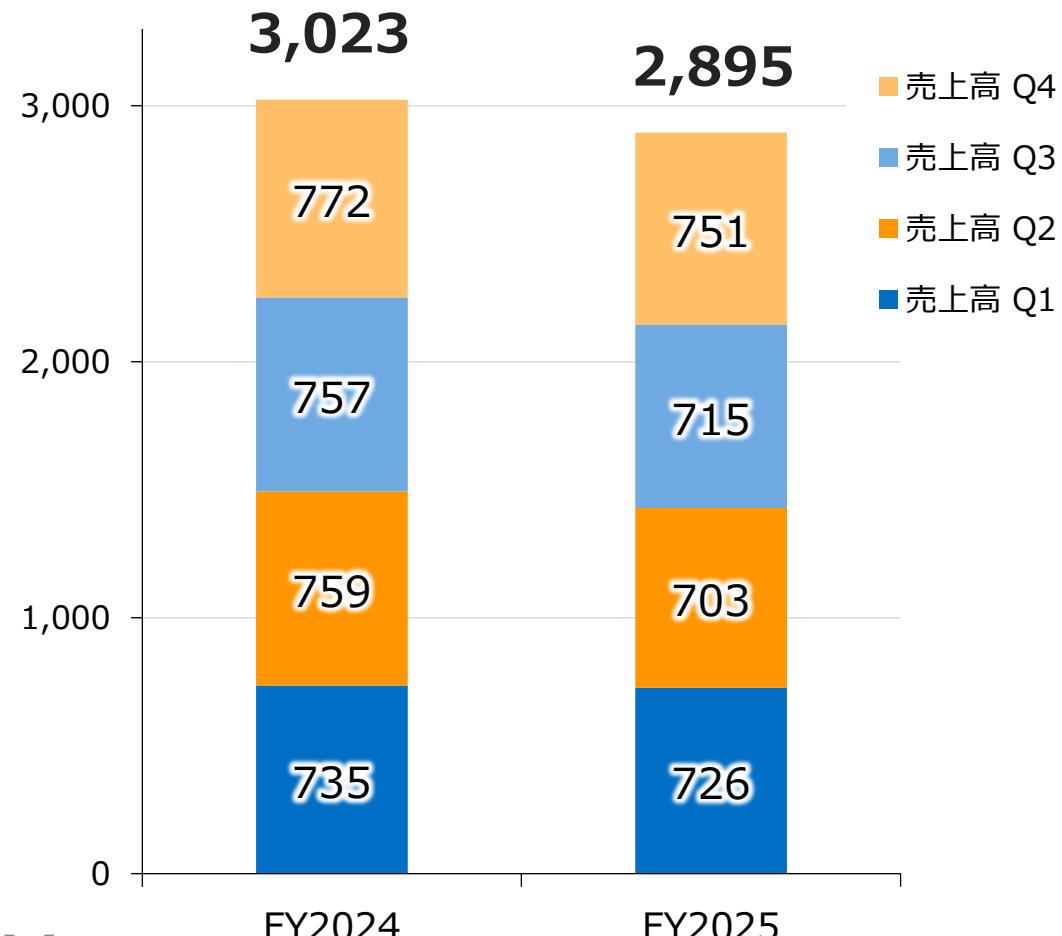
(単位：百万円)	FY2024		FY2025		増減 (FY2024 対 FY2025)		為替 影響額	実質増減	
	金額	%	金額	%	金額	%		金額	%
売上高	302,314	100.0	289,491	100.0	△ 12,822	△ 4.2	860	△ 13,683	△ 4.5
売上総利益	28,607	9.5	28,210	9.7	△ 396	△ 1.4	△ 104	△ 292	△ 1.0
販管費	20,047	6.6	19,356	6.7	△ 691	△ 3.5	5	△ 697	△ 3.5
営業利益	8,559	2.8	8,853	3.1	294	3.4	△ 109	404	4.7
経常利益	8,288	2.7	9,232	3.2	943	11.4	為替レート		
特別損益	△ 2,322	△ 0.8	△ 2,613	△ 0.9	△ 291	12.5	USD	151.48	149.71
法人税等	2,252	0.7	4,141	1.4	1,888	83.8	EUR	163.90	169.33
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,754	1.2	2,488	0.9	△ 1,266	△ 33.7	HKD	19.41	19.20
							THB	4.31	4.56
							RMB	21.02	20.83

- 連結の範囲

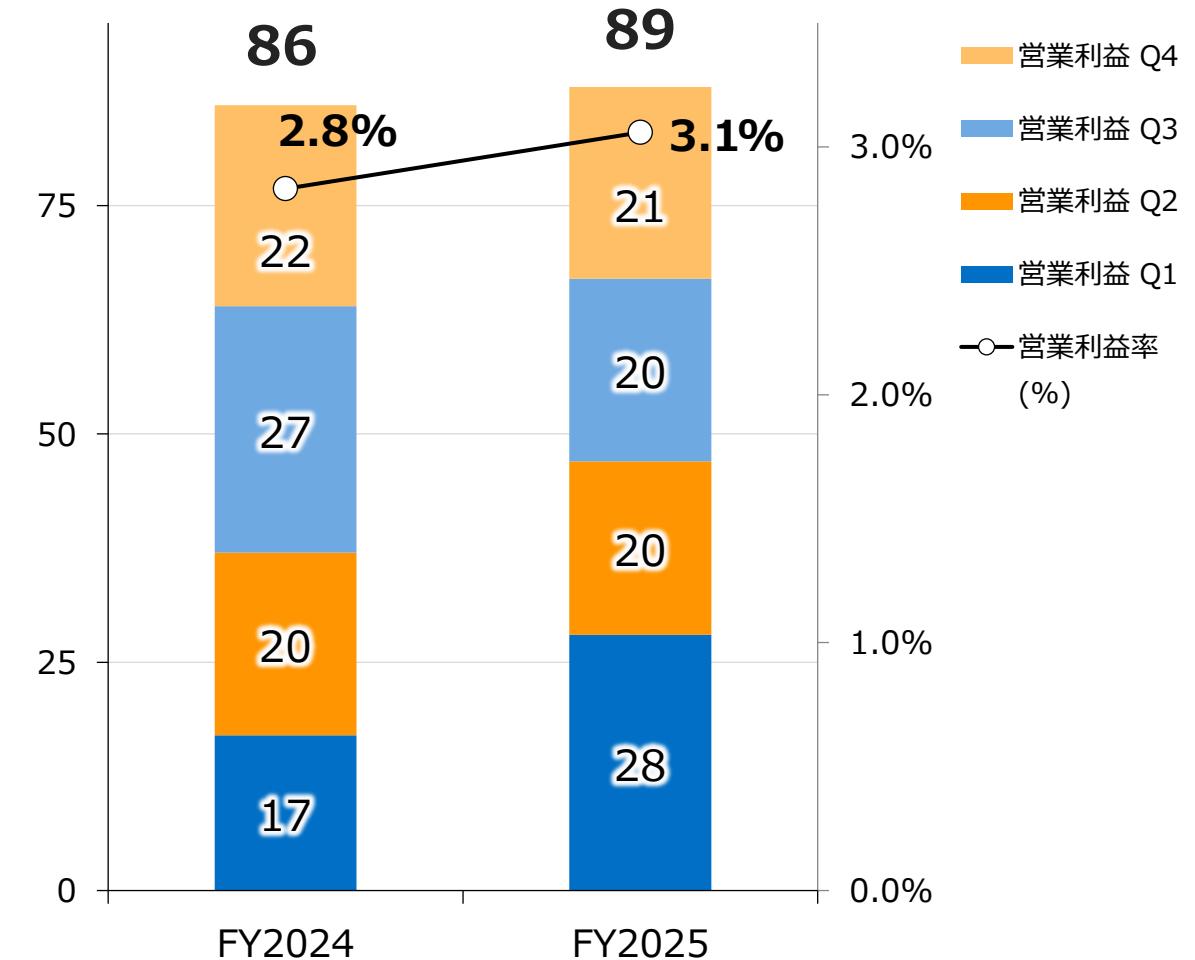
(単位：社)	FY2024 期末	増減		FY2025 期末
		増加	減少	
連結子会社	22	-	-	22
持分法適用関連会社	3	-	-	3

連結決算概要

四半期別売上高



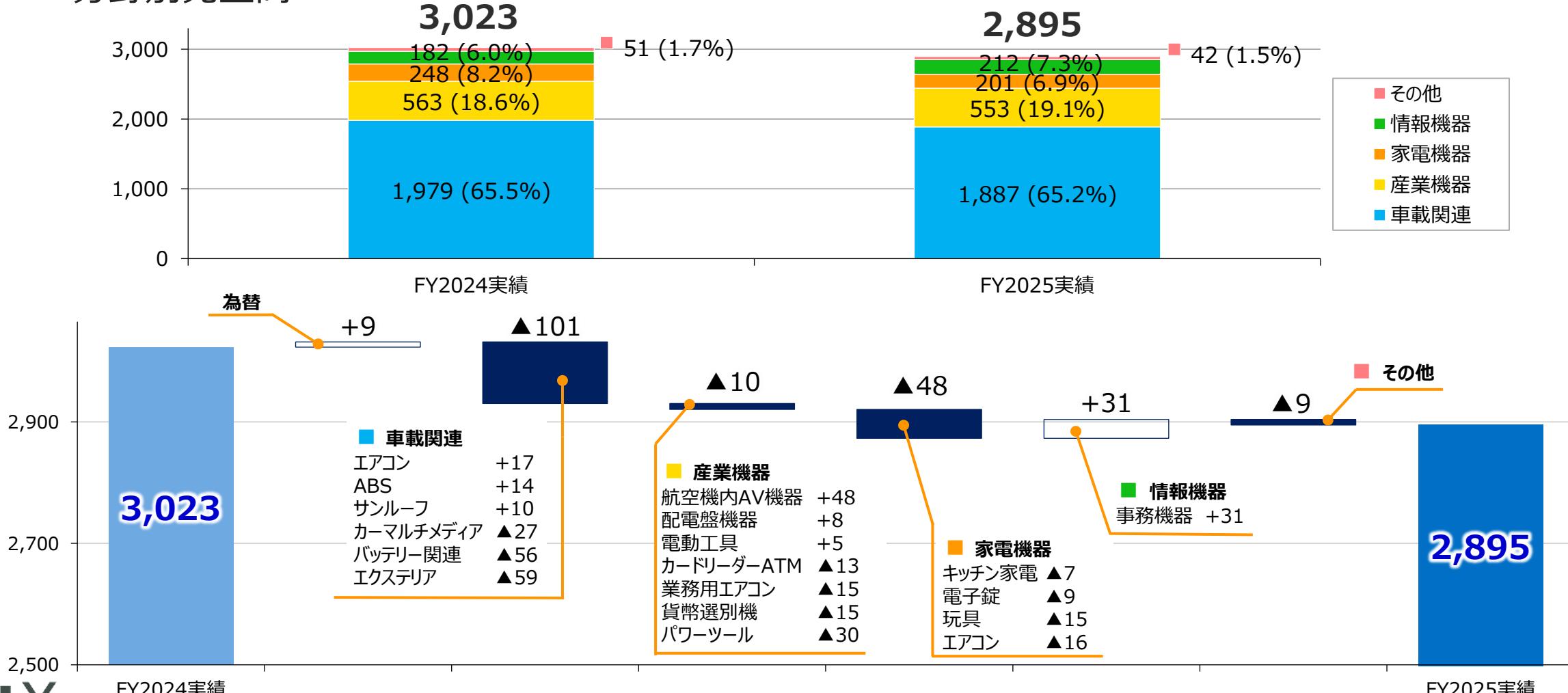
四半期別営業利益



連結決算概要

- 分野別売上高

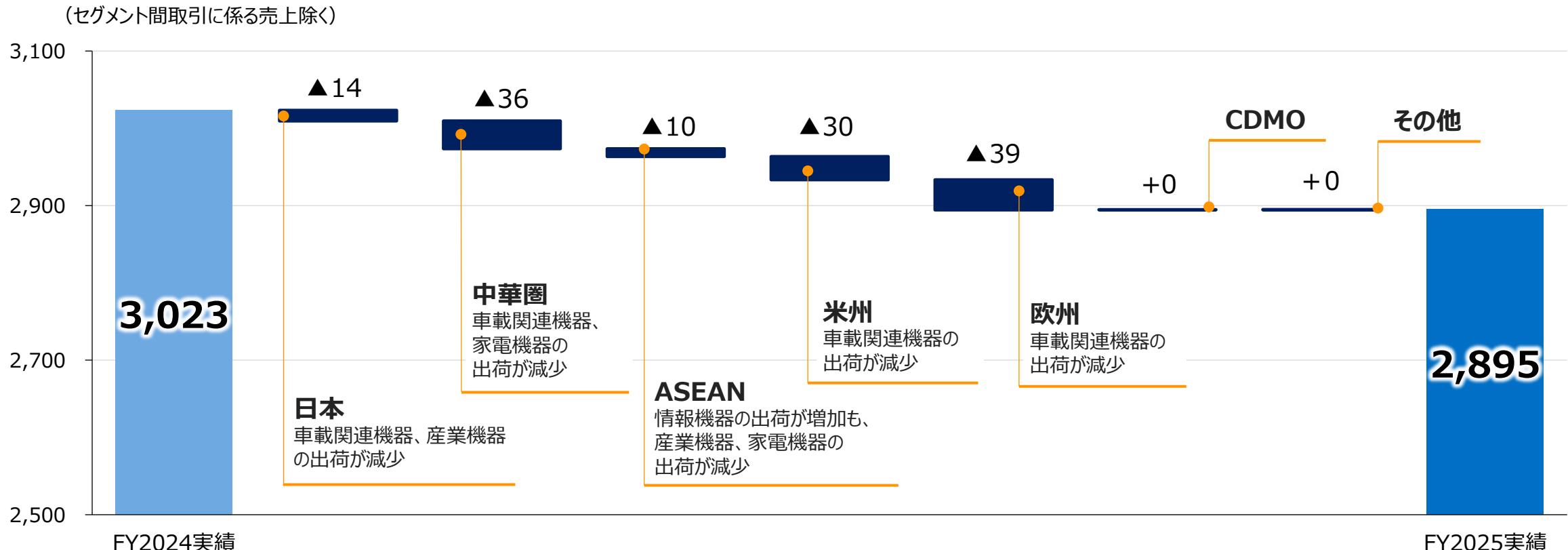
(単位: 億円)



連結決算概要

・セグメント別売上高分析

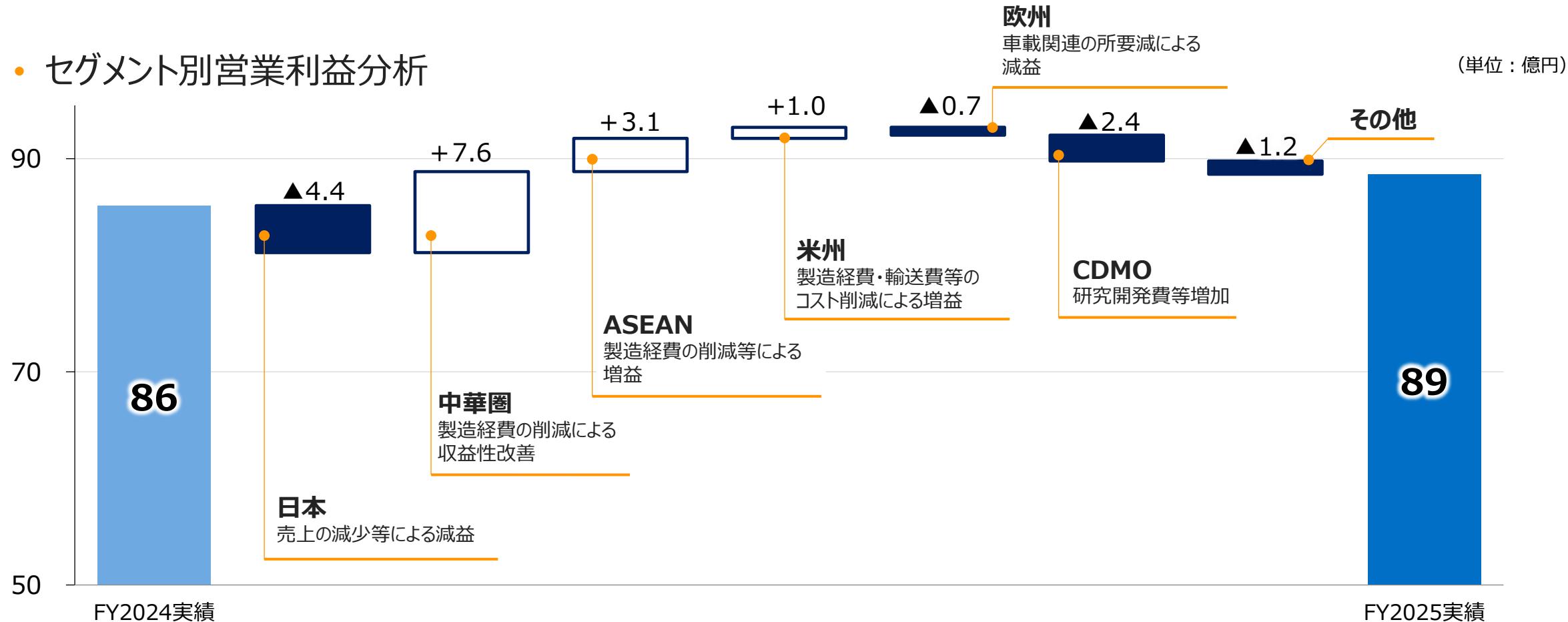
(単位: 億円)



(億円)	日本	中華圏	ASEAN	米州	欧州	CDMO	その他	TOTAL
FY2024	580	611	941	631	253	0	7	3,023
FY2025	566	575	931	601	214	0	8	2,895

連結決算概要

- セグメント別営業利益分析





連結決算概要

- 販売管理費

(単位：百万円)	FY2024		FY2025		増減	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	金額	率(%)
人件費	8,987	3.0	9,327	3.2	340	3.8
旅費・通信費	480	0.2	473	0.2	△ 6	△ 1.4
運賃荷造費	2,746	0.9	2,511	0.9	△ 235	△ 8.6
支払手数料	1,347	0.4	1,494	0.5	147	10.9
賃借料	282	0.1	194	0.1	△ 87	△ 31.1
減価償却費	2,013	0.7	1,728	0.6	△ 285	△ 14.2
その他経費	4,190	1.4	3,627	1.3	△ 563	△ 13.5
販売管理費	20,047	6.6	19,356	6.7	△ 691	△ 3.5



連結決算概要

- ・ 営業外損益

(単位：百万円)	FY2024	FY2025
受取利息	749	540
受取配当金	87	280
持分法による投資利益	-	112
補助金収入	246	269
物品売却収入	230	248
その他	1,016	661
営業外収益	2,330	2,113
支払利息	1,508	902
持分法による投資損失	19	-
為替差損	421	366
その他	650	466
営業外費用	2,600	1,734
営業外損益	△ 270	378

連結決算概要

- 貸借対照表

(単位：百万円)	FY2024 期末	FY2025 期末	増減 (FY2024期末 対 FY2025期末)			
	金額	金額	金額	率 (%)	うち為替影響	実質
流動資産	156,211	152,751	△ 3,459	△ 2.2	2,889	△ 6,348
受取手形、売掛金及び契約資産	61,665	58,660	△ 3,005	△ 4.9	1,055	△ 4,060
たな卸資産	64,144	56,491	△ 7,653	△ 11.9	1,439	△ 9,093
固定資産	61,273	55,110	△ 6,163	△ 10.1	511	△ 6,674
資産合計	217,484	207,862	△ 9,622	△ 4.4	3,400	△ 13,022
流動負債	78,469	71,606	△ 6,863	△ 8.7	1,340	△ 8,204
買掛金	41,000	40,680	△ 319	△ 0.8	742	△ 1,062
短期借入金	16,386	14,602	△ 1,784	△ 10.9	285	△ 2,070
1年内償還予定の社債	5,000	-	△ 5,000	-	-	△ 5,000
固定負債	37,981	32,471	△ 5,510	△ 14.5	163	△ 5,673
			-	-	-	-
社債	15,000	15,000	△ 6,333	△ 38.4	47	△ 6,381
長期借入金	16,479	10,145	△ 12,374	△ 10.6	1,504	△ 13,878
負債合計	116,451	104,077	2,751	2.7	1,895	855
純資産	101,033	103,784	0	△ 0.1	△ 339	339
(うち、非支配株主持分)	539	538	△ 9,622	△ 4.4	3,400	△ 13,022
負債および資本合計	217,484	207,862				

為替レート (USD)

¥158.18

¥156.56

連結決算概要

・キャッシュフロー

(単位：百万円)	FY2021 通期	FY2022 通期	FY2023 通期	FY2024 通期	FY2025 通期
営業C/F	△ 8,106	5,567	19,796	23,097	26,539
投資C/F	△ 7,765	△ 8,892	△ 10,392	△ 9,088	△ 2,257
財務C/F	869	6,676	△ 5,989	△ 12,320	△ 16,399
現金及び現金同等物	9,315	13,652	18,059	21,769	29,793
キャッシュフロー対 有利子負債比率（年）	—	10.3	3.2	2.5	1.8
インタレストカバレッジレシオ（倍）	—	7.6	13.2	15.7	26.7



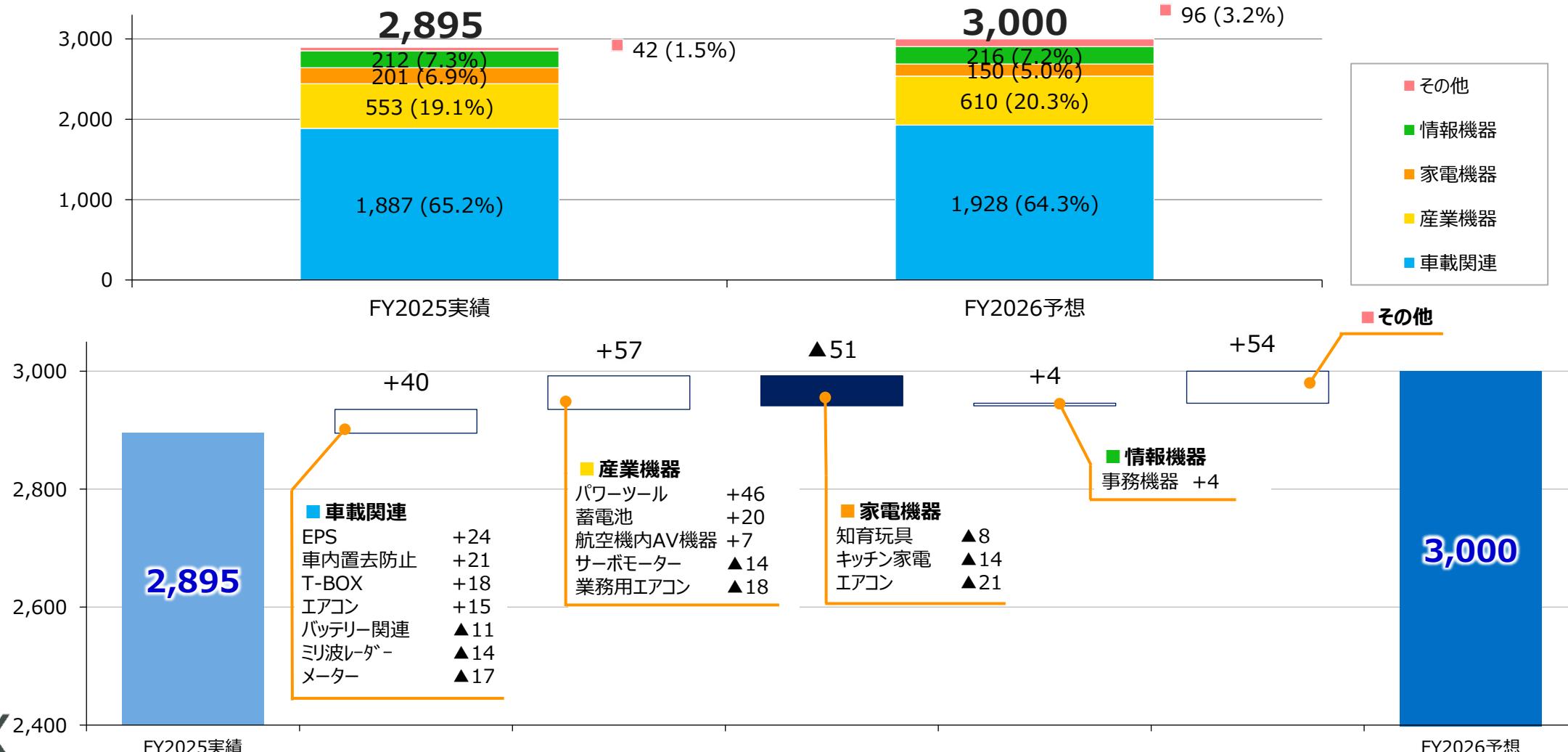
連結業績予想

	FY2024 実績 (単位：百万円)	%	FY2025 実績 (単位：百万円)	%	FY2026 予想 (単位：百万円)	%	FY2025 vs. FY2026 金額 率 (%)
売上高	302,314		289,491		300,000		10,508 3.6
営業利益	8,559	2.8	8,853	3.1	9,500	3.2	646 7.3
経常利益	8,288	2.7	9,232	3.2	9,000	3.0	△ 232 △ 2.5
親会社株主に帰属する当期純利益	3,754	1.2	2,488	0.9	6,000	2.0	3,511 141.1
1 株当たり当期純利益	79円75銭		52円82銭		127円29銭		74円47銭 141.0
想定レート(USD)	¥151.48		¥149.71		¥150.00		

連結業績予想

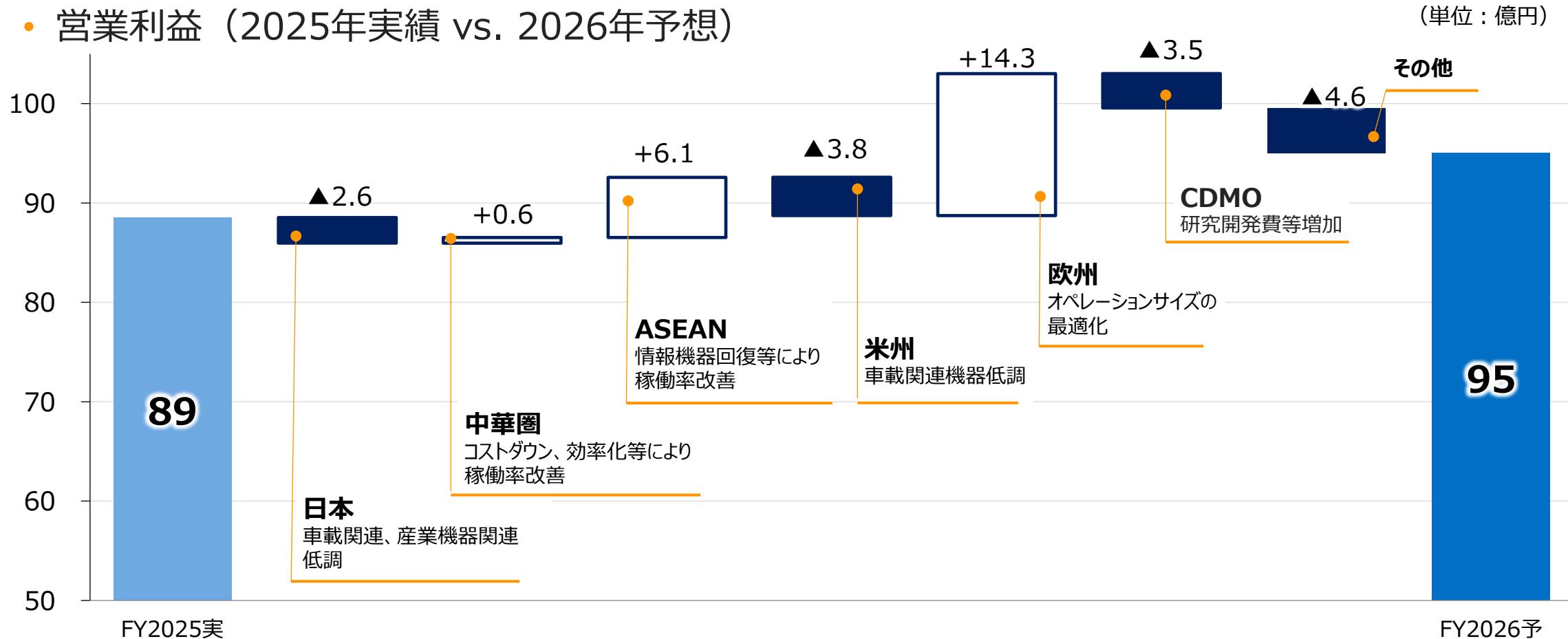
- 品種別売上高予想 (2025年実績 vs. 2026年予想)

(単位: 億円)



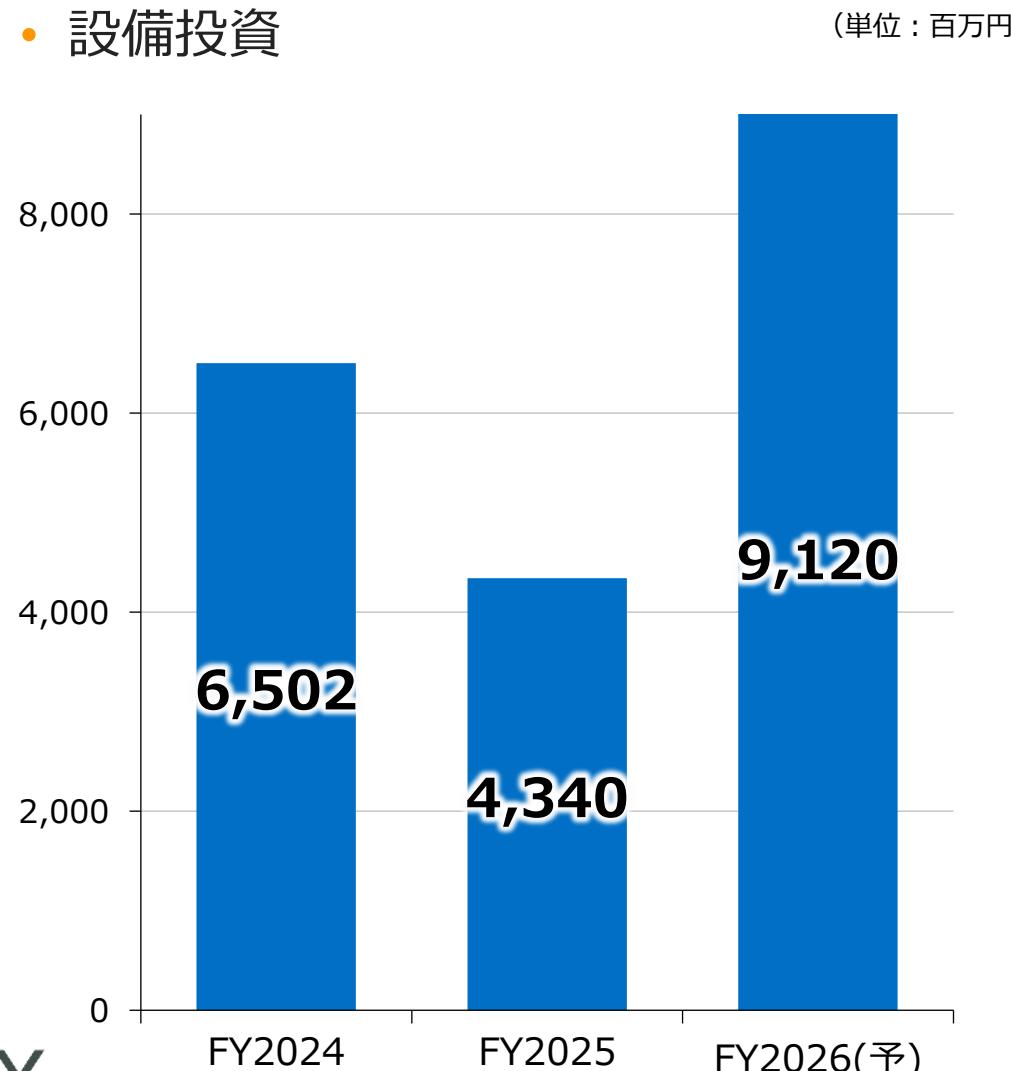
連結業績予想

- ・ 営業利益 (2025年実績 vs. 2026年予想)

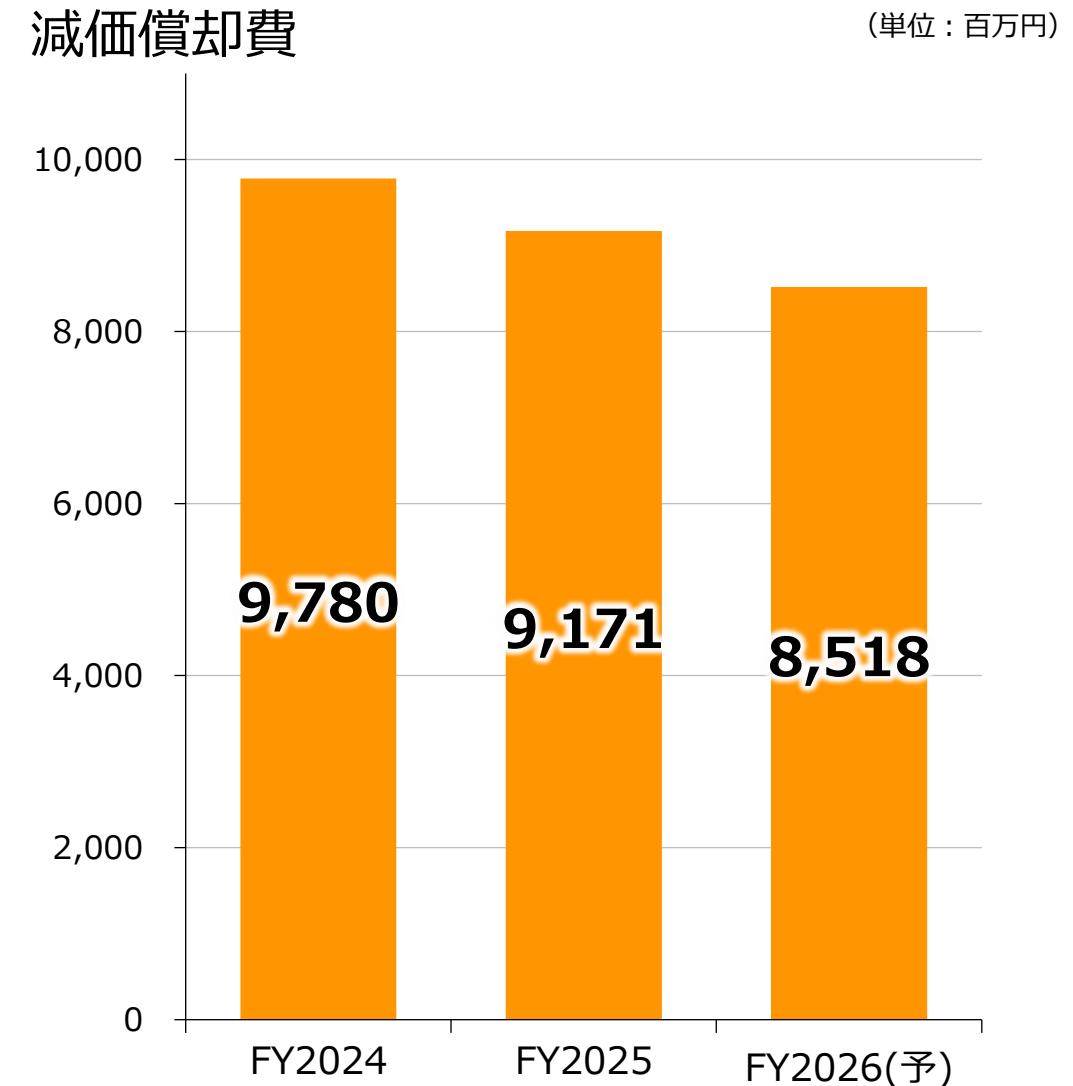


連結決算概要

- 設備投資



- 減価償却費





トピックス

- ハギヤニューテクノとの協業 – 日本国内キャパシティ拡充 ハギヤニューテクノ <https://hagiya.biz-web.jp/>
- 中華系車載T1とのビジネスの推進、複数案件で成約
- 部品メーカーとの付加価値共創の推進
- 蓄電・バッテリー関連領域でのビジネス進展
- センサー関連ビジネスのパイプライン拡大
- サカタインクス様と共同で市場開拓推進中
- 社内体制の強化（ガバナンス強化、営業企画、資材調達、技術統括）
- 治験薬スケールの生産を見据えて国内工場用地の選定完了

戦略コンセプト

長期的に安定成長できる高付加価値、高収益体質の確立、事業ポートフォリオの変革と多様化

基盤事業の成長

コアビジネスモデルの拡大

- 顧客ポートフォリオの多様化
- EMS競争力の強化＝「当たり前」の実践
- パートナーシップ活用

事業の高付加価値化

アドバンスドEMSへの進化

- 新規ビジネス企画
- JDM／DFM機能強化
- パートナーシップ活用

サプライチェーンの最適化

購買改革、調達改革

- サプライチェーンの一元管理
- パートナーシップ活用

事業の多角化

新市場開拓、新ビジネスポートフォリオの構築

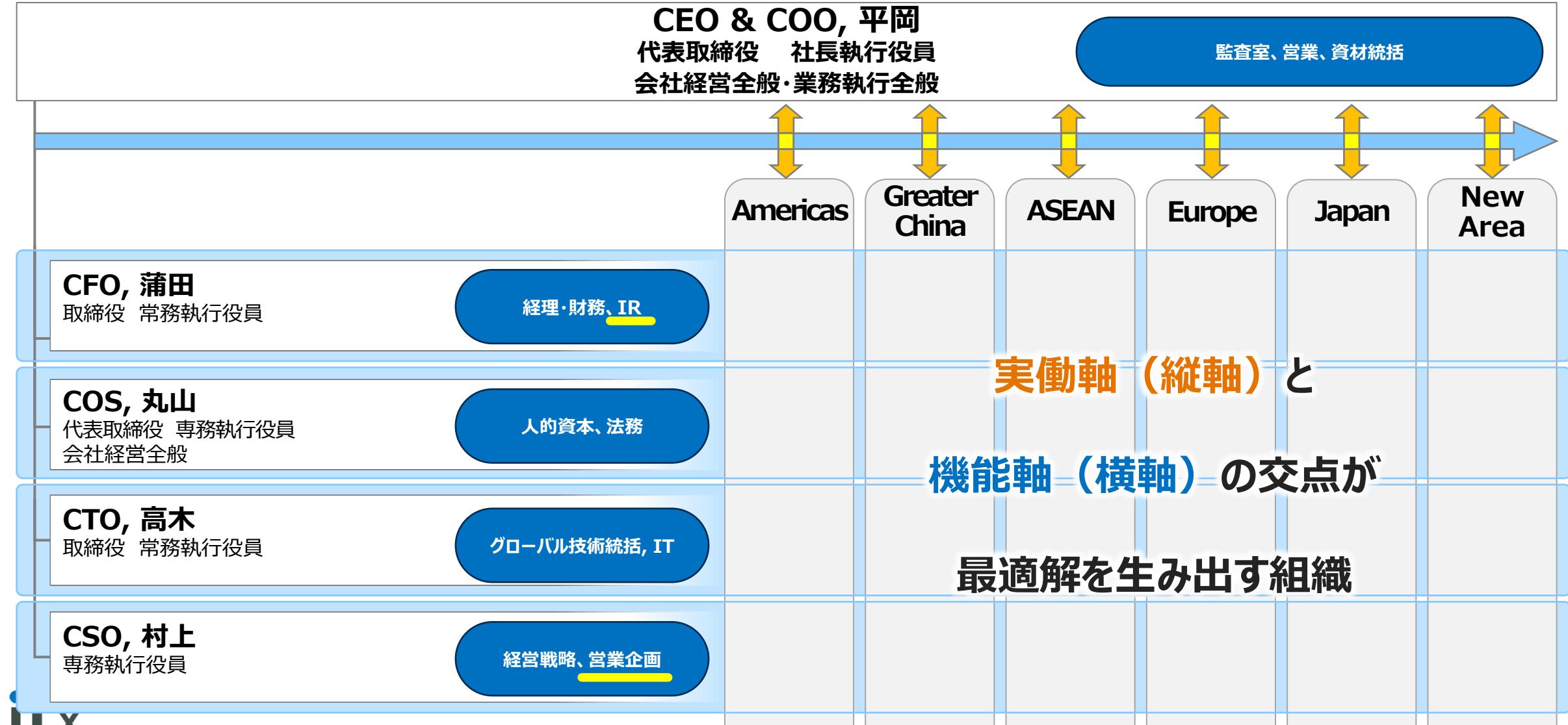
- 新規ビジネスモデル、新規市場、新規エリアの開拓
- パートナーシップ活用

BPR戦略

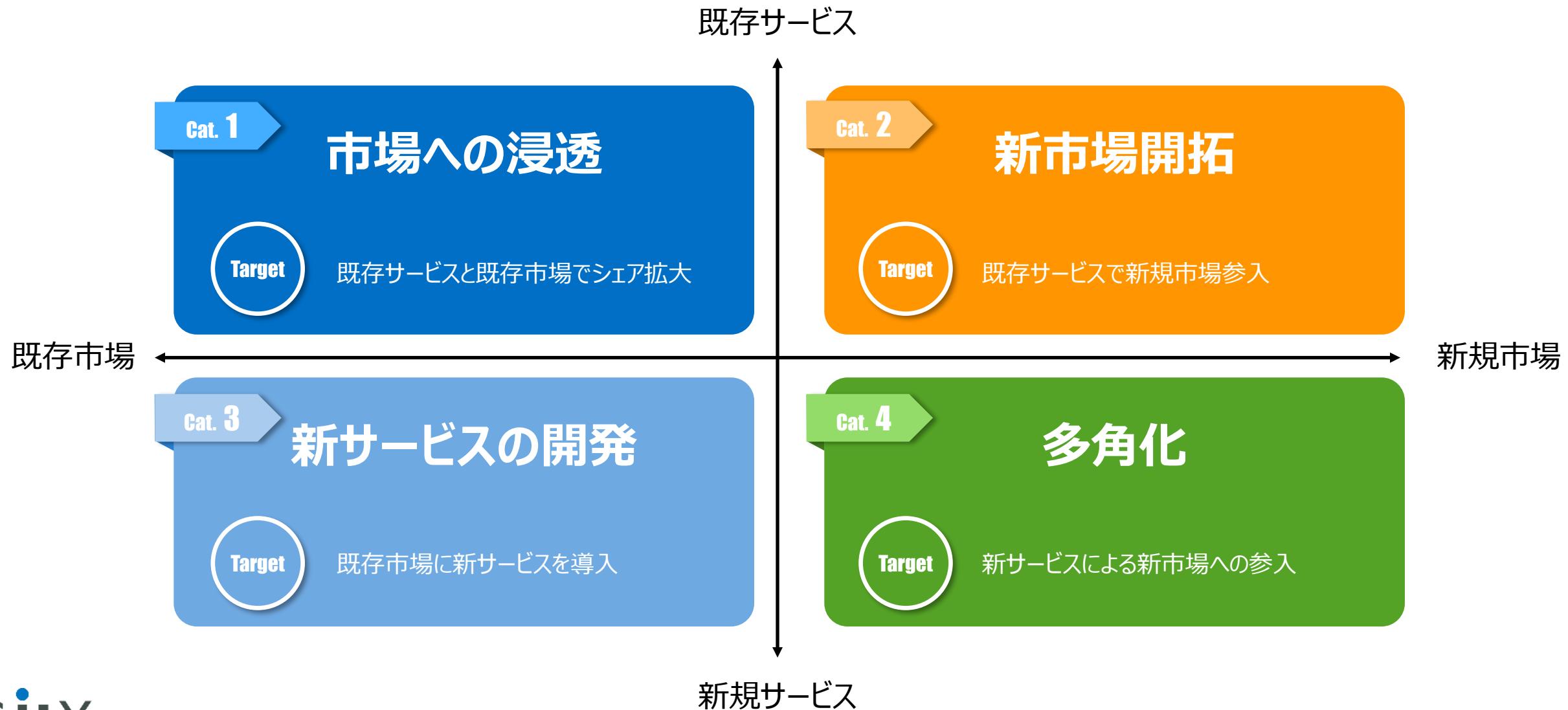
全体最適を目指した業務プロセスの設計と実装

- ツール（RPA・AI・BI等）活用、人の役割分担

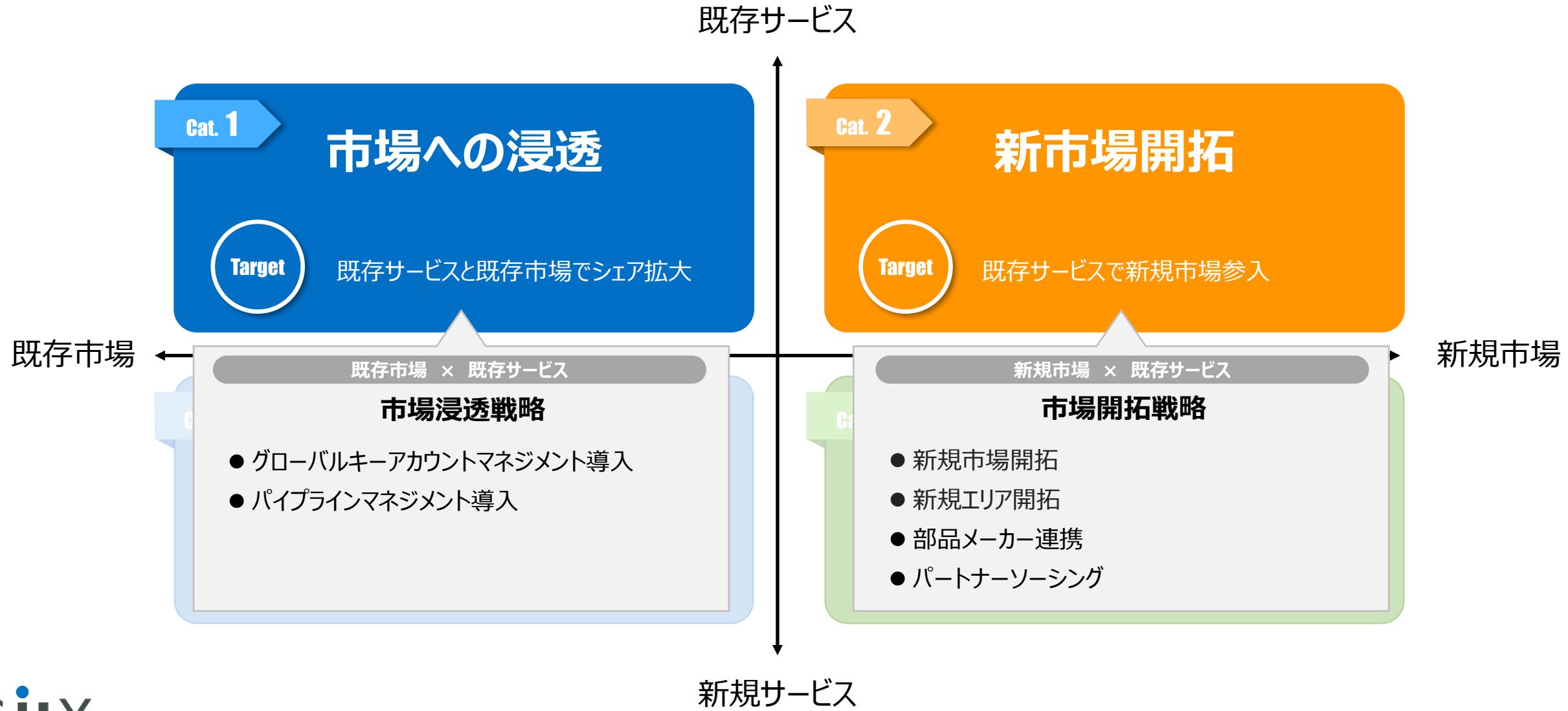
ガバナンスの強化



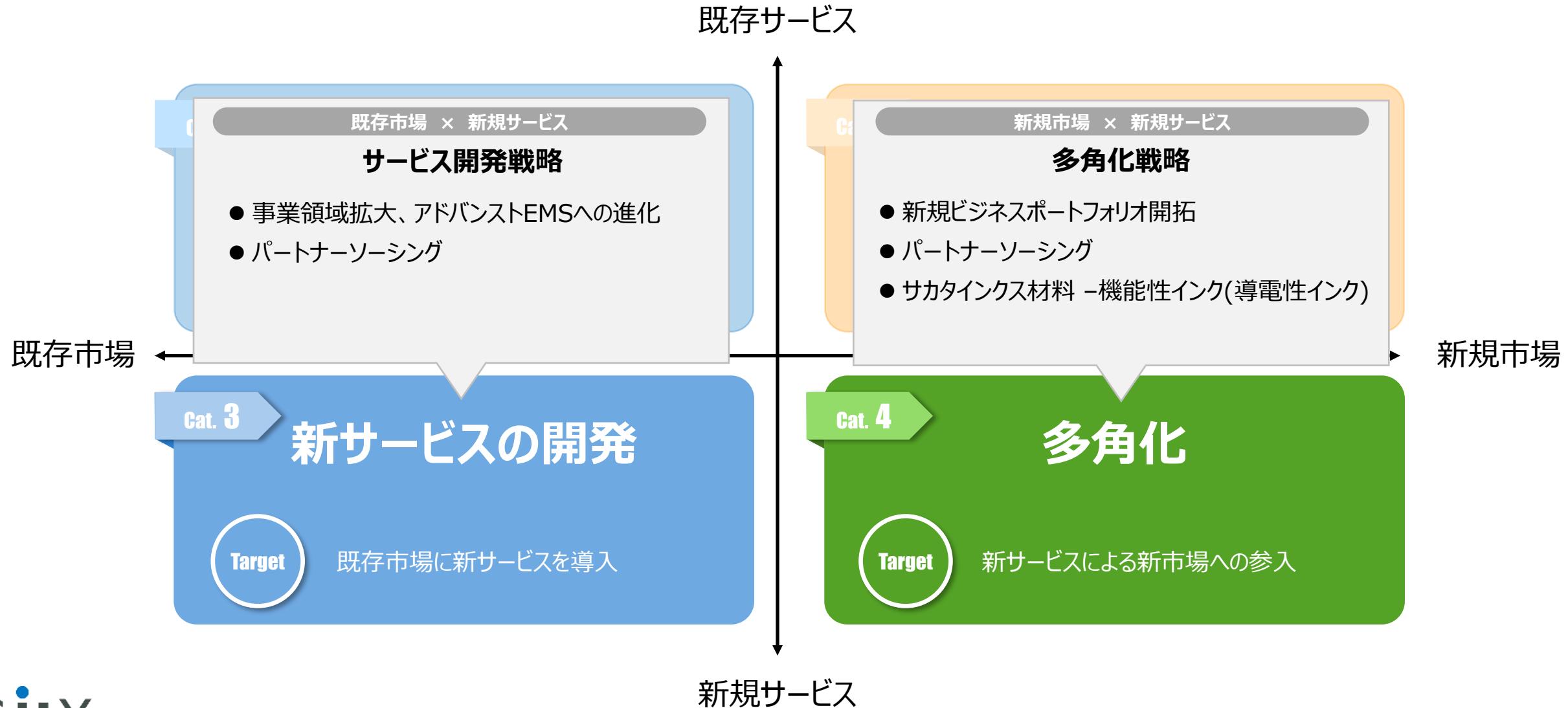
当社の成長戦略 -営業企画の機能強化-



当社の成長戦略 -営業企画の機能強化-



当社の成長戦略 -営業企画の機能強化-



当社の成長戦略 -調達購買機能強化-

資材統括部（本社）

調達戦略、業務改善、コストинг、調査、物流の5グループ体制にて、調達機能を強化

調達戦略グループ[®]

品目カテゴリ戦略策定・実行、サプライヤマネジメント、
調達DX推進

業務改善グループ[®]

生成AI、RPA活用による業務改善
(営業部・技術統括部とコラボレーション)

調達グループ[®]

コストинг (RFQ対応)

調査グループ[®]

紛争鉱物などのグリーン調達、各種法令順守のための調査推進

物流グループ[®]

物流業務全般、物流改善によるコストリダクション推進

Regional Costing

Japan

調達・物流機能

Greater China

調達・物流機能

ASEAN

調達・物流機能

Americas

調達・物流機能

Europe

調達・物流機能

連携・最適化

資材統括部を中心にサプライチェーンの一元管理を行う組織づくり
調達・物流コスト削減により利益創出と競争力の強化

製造工場の基本方針と重点活動項目

● 製造DX(Digital transformation)の推進を継続

コアコンピタンス強化

- ・モノ作り分科会実施
工場長フォーラム開催
- ・海外人材活用

生産現場強化

- ・高品質確保
- ・APQP導入 運用強化
- ・SIIIX Principles浸透

スマート工場化

- ・可視化管理
(Dashboard)
- ・自動倉庫導入
- ・自動化設備、ロボット導入
(自社開発自動機導入)

マネジメント 変革

データドリブン管理

ESG
対応力

リアルタイム
管理

バリューチェーン
の最適化

SIIIX製造DX

製造現場 変革

グローバル営業技術・グローバル製造コストинг

設備効率の
最適化

生産プロセスの最適化
品質・生産性

スキルの継承
人材育成

アドバンストEMS

バリューチェーンの強化

シーケスモノ造りの付加価値創出

- ・製品プロセスへの早期参画
- ・製造プロセス技術の深堀
- ・AI技術活用による省人化

人材育成

- ・設備の標準化
- ・シーケスアカデミー教育編

IT / オペレーション 変革

グローバル IT 機能

見える化

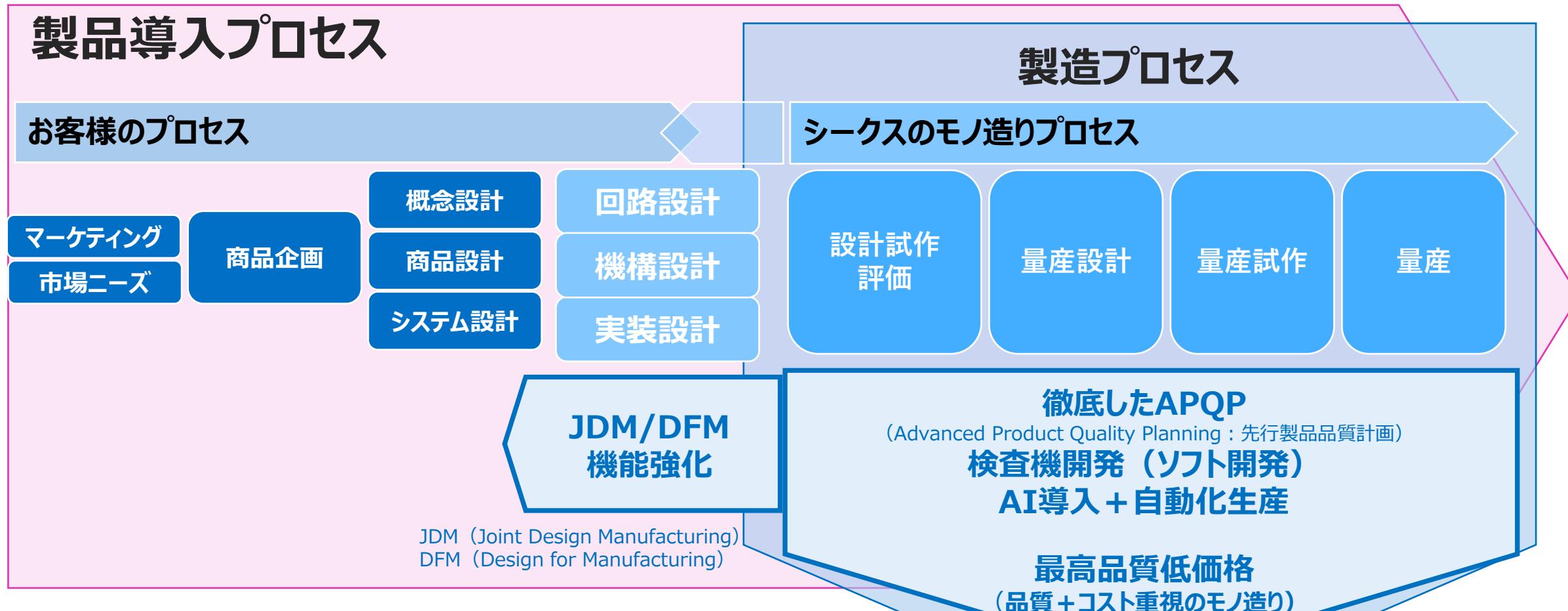
自動化

OT-IT の相互運用

OT: Operational Technology
設備などから入手できるDATA

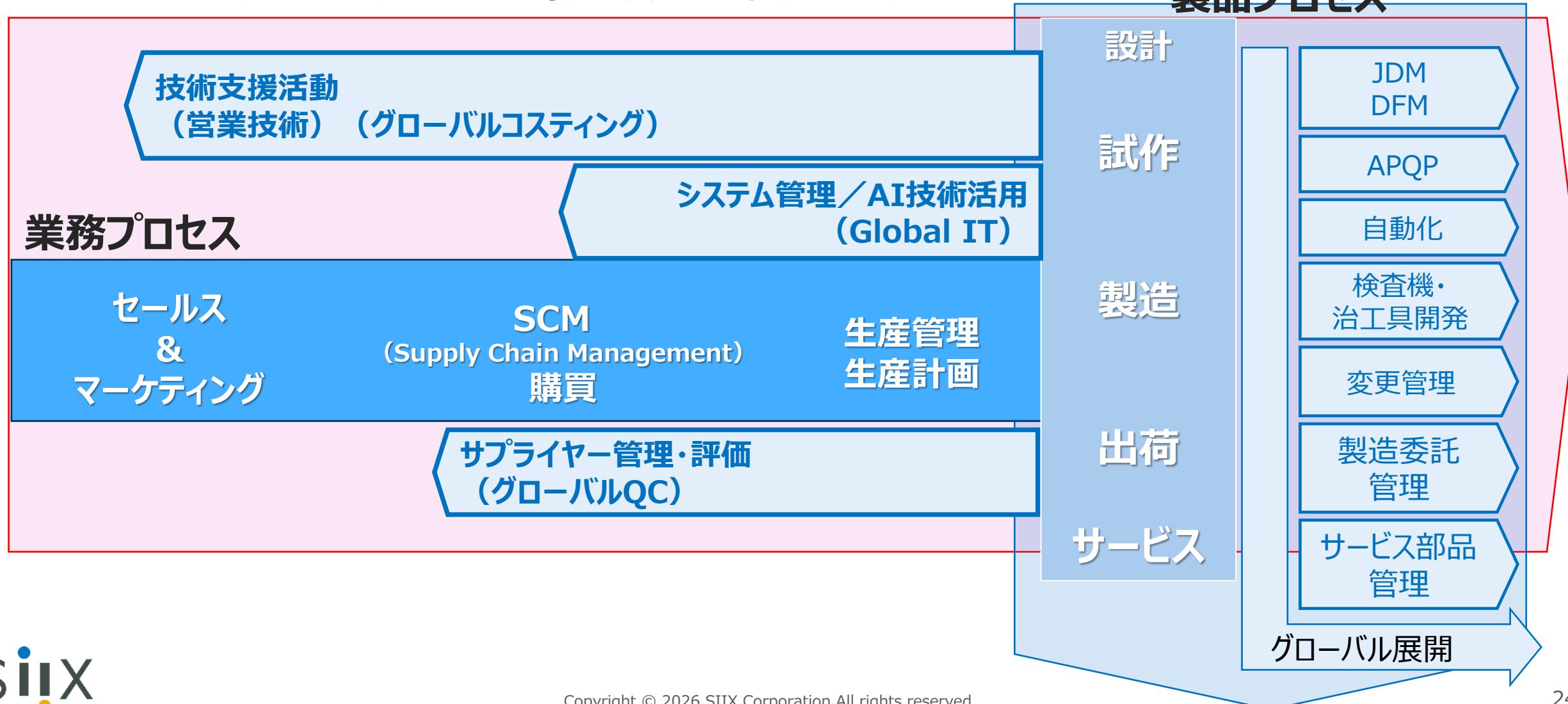
アドバンスドEMS

- シークスバリューチェーンビジネスモデル <製品導入プロセス>



アドバンスドEMS

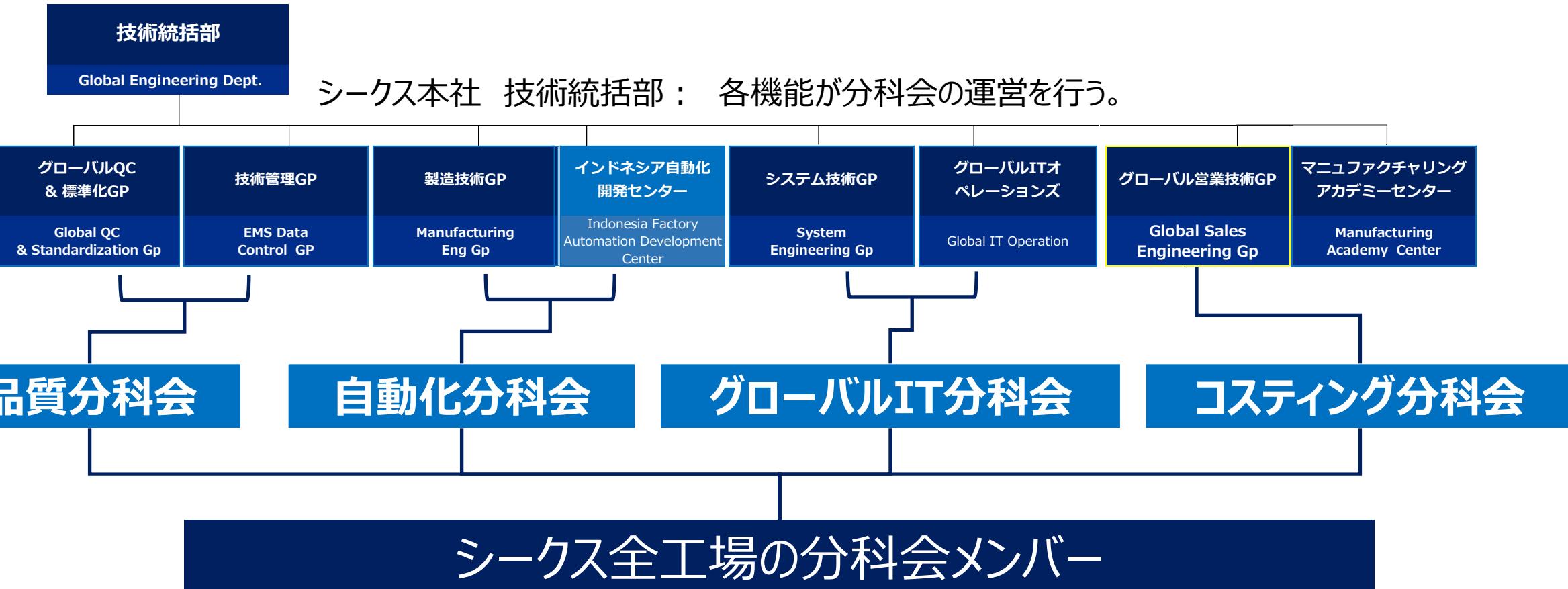
- シークスバリューチェーンビジネスモデル <業務プロセス>





コアコンピタンス強化・現場強化・スマート工場化体制

- 分科会活動をグローバルの展開することで強化体制を構築する



人材育成

● シークスマニュファクチャリングアカデミーの進捗

2025年 SIIIX Manufacturing Academy設立、 製造拠点への公開、
シークスマノづくり人員の継続的育成 を開始。
今後の取り組み

- 製造拠点との経験・ノウハウ共有。一方通行教育から相互理解と成長へ
- 上級編全カリキュラム公開。 ノウハウ・改善項目の増強。
- 営業拠点への公開 モノづくりのわかるシークス営業マン育成を目指す
- 製造拠点人材育成と評価への反映
 - 初級編：新人導入教育、オペレータスキルアップへの応用
 - 中級編：品質管理、製造リーダー教育、工程改善へ活用
 - 上級編：エンジニア、NPI工程設計、品質対策へ活用

■カリキュラム公開状況

32項目 ⇒ 46項目

初・中級編 7ヶ国語 100%公開中

〔日本語・英語・中国語・スペイン語
タイ語・インドネシア語・スロバキア語〕

レベル	公開	合計	%
初級編	15	15	100%
中級編	21	21	100%
上級編	10	15	67%
合計	46	51	90%

■理解度テスト受験者数（延べ人数）

992名 ⇒ 2,197名

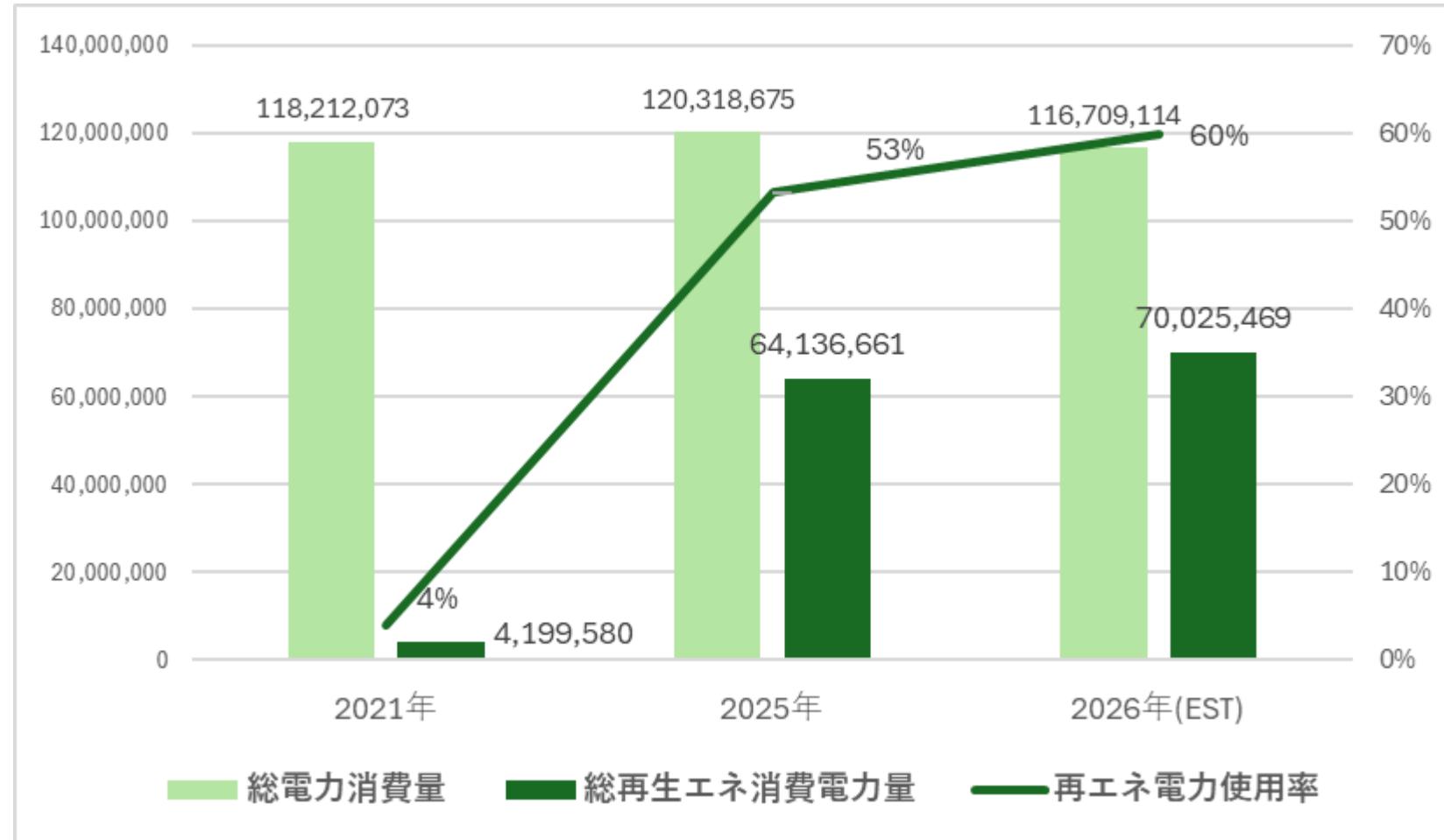
	初級編	中級編	上級編	合計
印刷・部品実装・リフロー	239	157	0	396
SPI (はんだ印刷検査)	156	130	2	288
AOI (自動光学検査)	179	120	10	309
ICT (インサーキットテスト)	90	59	0	149
コンフォーマルコーティング	138	60	0	198
基板分割	136	42	3	181
FCT (ファンクションテスト)	105	49	0	154
AXI (X線検査)	58	22	0	80
ウェーブ・セレクティブソルダリング	143	68	0	211
ESD (静電気対策)	82	16	13	111
包装設計	0	61	0	61
APQP (先行製品品質計画)	0	59	0	59
合計	1326	843	28	2197

■カリキュラムの構成 ●:公開、○:準備中 (2Q全公開)

プロセス	カリキュラム名			初級編	中級編	上級編
SMTプロセス	印刷・部品実装・リフロー	表面実装プロセス	●			
	基板と部品	●	●	●		
	はんだ	●	●	○		
	はんだ印刷	●	●	●		
	部品実装	●	●	○		
	リフロー	●	●	●		
	不良項目とその主な原因			●		
パッケンドプロセス	SPI / はんだ印刷検査			●	●	●
	AOI (自動光学検査)			●	●	●
	ICT (インサーキットテスト)			●	●	●
NPI / 新製品導入	コンフォーマルコーティング			●	●	●
	基板分割			●	●	●
	FCT (ファンクションテスト)			●	●	○
	AXI (X線検査)			●	●	●
	ウェーブ・セレクティブソルダリング			●	●	○
ノウハウ	静電気対策 ESD			●	●	○
	包装設計				●	
	APQP	基礎編			●	
工程改善		システム運用ガイドライン			●	
	LED 高精度実装技術				●	
	パウンダリスキヤン				●	
	LED サブマウント技術				●	
段取り替え					●	

サステナビリティに関する取り組み

・CO2削減 (Scope-2)



・太陽光発電設置状況



・再エネ電力利用状況

スロバキア工場、日本相模原工場、中国（東莞・上海）工場
フィリピン工場、メキシコ工場 ドイツ、シンガポール営業事務所

・2025年実施項目

再生可能エネルギー

フィリピン工場	99%
中国 東莞工場	100%
中国 上海工場	64%

太陽光発電設置

シンガポール
タイ工場

排出権自国購入へ切替

中国工場（東莞、上海、湖北）
メキシコ工場（1部）

サステナビリティに関する取り組み

CO2総排出量削減

	削減目標 (2030年)	基準年 (2021年)	2024年 実績	削減活動
SCOPE 1		924t	1,032 t	社用車のEV化推進中 スロバキア・相模原・ドイツ・台湾・中国など全拠点
SCOPE 2	2021年比 95.6% 削減	69,484t	<p>0 t 基準年比 100%減</p> <p>SCOPE1,2 98.5%削減</p>	<p>太陽光パネルの設置 設置済：上海、東莞、湖北、メキシコ、ジャカルタ、 バタム、シンガポール、タイ</p> <p>再生可能エネルギー由来の電力へ切替 欧州・相模原工場・東莞工場100%、上海工場64% フィリピン99%、メキシコ50%</p> <p>省エネ活動の促進 はんだ硬化炉の停止時間の省エネ実施、エアコンの集中管理による省エネ継続</p> <p>生産設備の省エネモデルへの切替 消費電力量を設備投資の基準に追加</p>
SCOPE 3	2021年比 25%削減	583,026t	579,353t 0.63%削減	仕入先に対し定期的ヒアリングを実施、排出データの精度向上およびサプライチェーン全体でのCO2排出量削減を目指して協働する（2025年 NTT data C Turtleによる管理開始）
TOTAL		653,434t	580,385t	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度第三者保証取得（SCOPE1,2,3） ・CDPサプライヤーエンゲージメントリーダー選出（2024年度） ・SBT認証取得（2030年目標） ・CDP気候変動スコア A （2025年度取得）



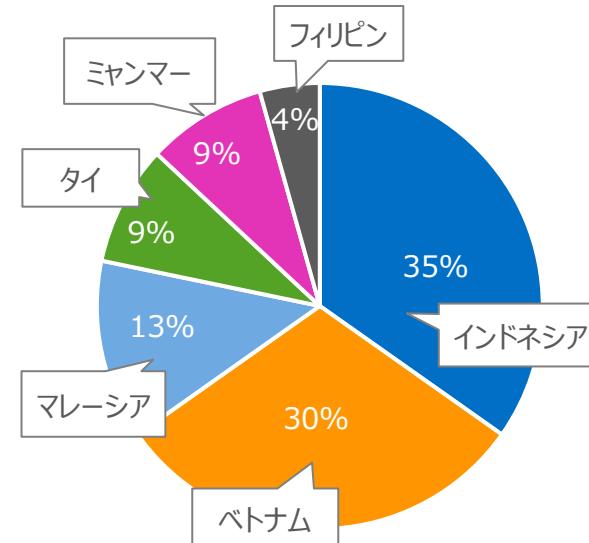
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

サステナビリティに関する取り組み ~村井シークス財団~

●第1期奨学生の採用状況

- 大学別の奨学生採用数と奨学生の出身国分布

大学名	奨学生の数 (人)
関西外国語大学	2
関西学院大学	5
関西大学	2
中央大学	1
同志社大学	5
明治大学	1
立命館アジア太平洋大学	2
立命館大学	5



- 奨学生との懇親会開催

昨年10月4日（土）に第1期奨学生懇親会を行いました。オンライン参加2名を含む23名の奨学生が一堂に会し、活発に意見交換を行い交流を深めました。

初年度はASEAN地域から日本に留学している学生を対象として奨学金を給付しましたが、来年度は日本からASEAN地域に留学している学生にも範囲を拡大し、優秀な学生への奨学金給付事業を引き続き行ってまいります。



サステナビリティに関する取り組み ~従業員エンゲージメントスコア~

- エンゲージメントスコアの変化



SIIIX Pioneersによる理念の重要度認識醸成

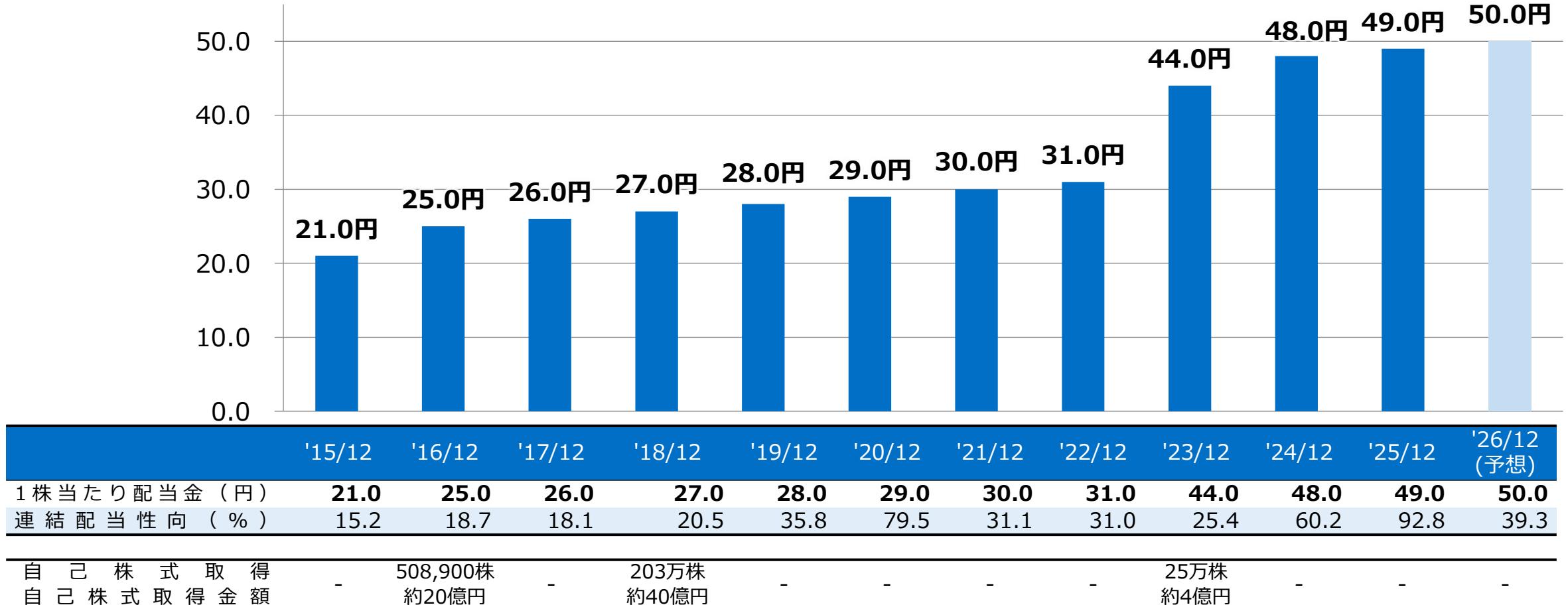


新卒国内若手社員のエンゲージメント改善

株主還元

20期連続
増配予定

- 年間配当



※記念配当1円含



Renzoku
Biologics

Renzoku Biologics

A Centre of Excellence for Advanced Biomanufacturing

2025.2.20 決算説明会

Mission and Vision

Mission

バイオ医薬品製造におけるイノベーションを通じて世界の人々の健康と医療に貢献する

Vision

~2028

Short Term

~2031

Mid Term

- 治験薬製造規模の受託を可能にするGMP生産能力（50-200Lスケール）を構築する
- 連続製造をはじめとする先進製造技術をテコに、バイオ医薬品製造のCentre of Excellenceとして認知されるCDMO企業の基礎を築く

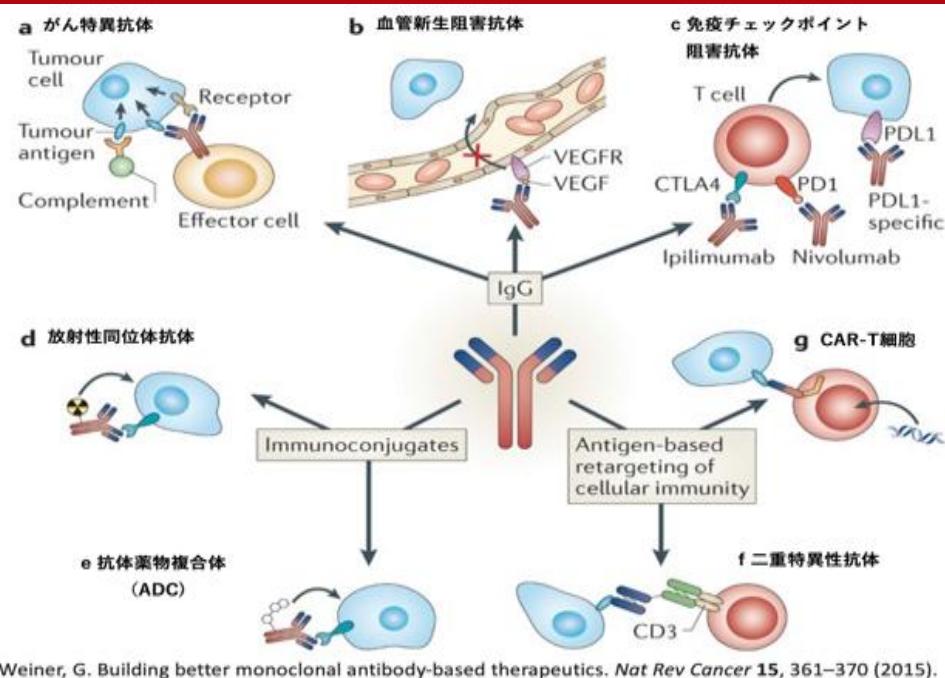
- 商用生産規模の受託を可能にするGMP生産能力（500Lスケール）と施設を構築する
- 国内外に事業を展開し、成長のための収益基盤を確保する

Renzoku Biologicsの目指すところ

私達は、先進的バイオ生産技術を用いて、
コスト・スピード・品質において優れた抗体医薬品を、顧客に提供するCDMOとなります

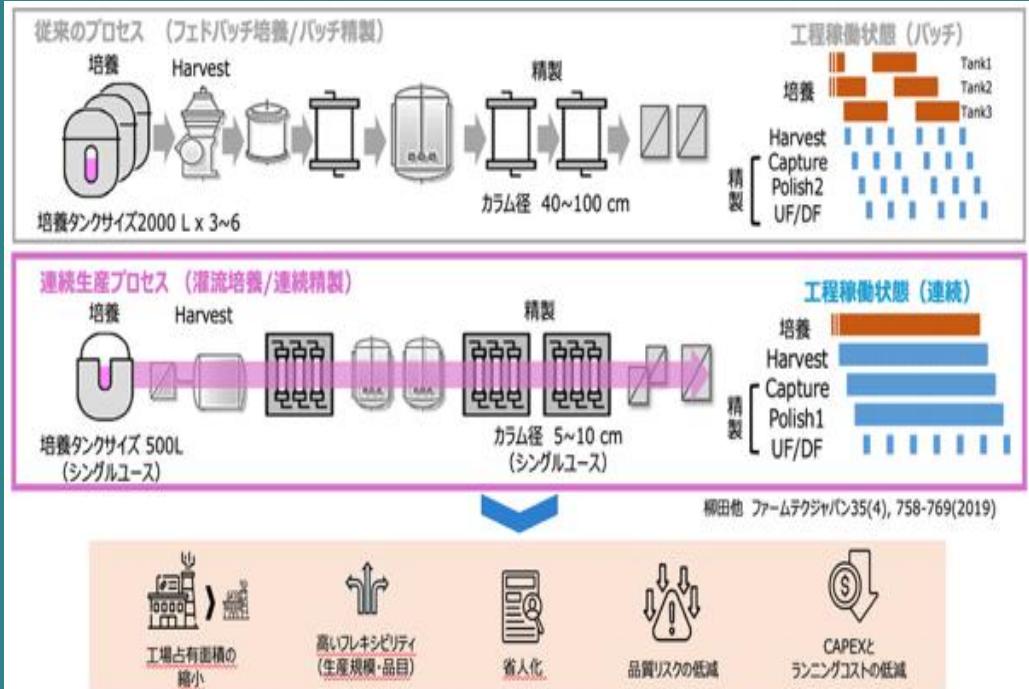
抗体医薬品

抗体はさまざまな治療法の創出を継続的に牽引する



先進的バイオ生産技術

連續生産をはじめとする先端バイオ製造技術を統合した工場の建設



プロセス開発ラボ、製造サイト構築計画の概要

2024

2025

2026

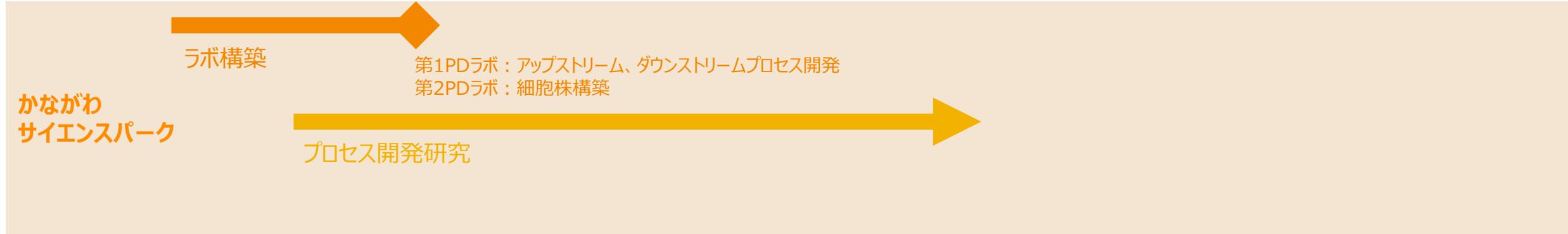
2027

2028

2029

2030

2031



KSPとラボ

かながわサイエンスパーク (KSP)



会議室



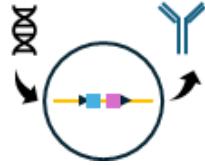
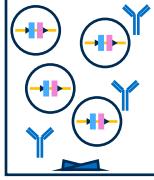
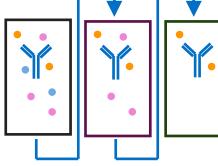
第1 P D ラボ



第2 P D ラボ



プロセス開発用機器の導入完了、2027年に第1世代の製造プロセス構築を完了予定

		2025年までの進捗	今後の計画
株構築 CLD		<ul style="list-style-type: none"> モデル抗体発現細胞株を実施し、培養検討に適用 	<ul style="list-style-type: none"> 2026年上期に従来法を用いた細胞構築プロセス確立完了 オリジナル細胞開発を2027年中に完了
培養 USP		<ul style="list-style-type: none"> 培養条件検討進行中 	<ul style="list-style-type: none"> 2026年下期に培地決定 第1世代プロセス検証を2026年下期に開始、2027年上期に完了
精製 DSP		<ul style="list-style-type: none"> 精製条件検討進行中 	<ul style="list-style-type: none"> 第1世代プロセス検証を2026年下期に開始、2027年上期に完了
分析 Analytics		<ul style="list-style-type: none"> 各種試験法の立ち上げ進行中 	<ul style="list-style-type: none"> 第1世代プロセス検証を2026年下期に開始、2027年上期に完了

顧客獲得の方針

1. 自社のスピード、フレキシビリティ、高い生産技術力をレバ
レッジとし、国内外の顧客を、企業タイプ[°]、製品タイプ[°]、
製品規模でセグメンテーションし、受託・協業機会を探索
2. 成長初期は、特に製造能力の低い新薬企業（タイプ[°]
A,B）[°]、中小型製品をプライマリーターゲットとして、連
続生産でのGMP製造実績を積む
3. バイオシミラーについては、安定供給ニーズを求める国内
外の企業からの受託・協業機会を優先的に探る

企業タイプ [°]	顧客の抗体医薬品製造能力
A	製造能力のない スタートアップ・ベンチャー企業
B	製造能力の比較的低い 大手・中堅製薬企業
C	高い製造能力を持つ 大手製薬企業、

製品タイプ	製品規模	ステージ
新薬	大型	PI/II, PIII/商用
	中小型 (オーファンなど)	PI/II, PIII/商用
バイオシミラー	大型	PIII/商用



免責事項

- 当資料に掲載されている情報は、シークス株式会社（以下、当社）の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、当資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、当資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 当資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 当資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

2025年12月期 決算説明資料 <Appendix>

2026年2月
シーケス株式会社



損益計算書（連結）

(単位：百万円)	FY2021 通期	FY2022 通期	FY2023 通期	FY2024 通期	FY2025 通期
売上高	226,833	277,031	309,768	302,314	289,491
営業利益	4,954	8,929	12,254	8,559	8,853
営業利益率 (%)	2.2	3.2	4.0	2.8	3.1
経常利益	5,934	8,337	11,849	8,288	9,232
経常利益率 (%)	2.6	3.0	3.8	2.7	3.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,561	4,733	8,185	3,754	2,488
親会社株主に帰属する 当期純利益率(%)	2.0	1.7	2.6	1.2	0.9
連結子会社数 (社)	22	22	21	22	22
持分法適用数 (社)	2	2	3	3	3
従業員数 (人)	12,354	12,734	11,052	9,538	8,712



主な経営指標等（連結）

		FY2021 通期	FY2022 通期	FY2023 通期	FY2024 通期	FY2025 通期
自己資本当期純利益率 (ROE)	(%)	7.5	6.6	9.9	4.0	2.4
総資産経常利益率 (ROA)	(%)	3.8	4.4	5.6	3.8	4.3
総資本回転率	(回)	1.4	1.5	1.5	1.4	1.4
純有利子負債対純資産比率	(%)	63.6	64.2	49.1	31.6	11.1
D/Eレシオ	(倍)	0.8	0.8	0.7	0.5	0.4
流動比率	(%)	153.8	155.6	177.8	199.1	213.3
売上債権回転日数 ※	(日)	67.9	67.9	68.1	73.7	75.9
棚卸資産回転日数	(日)	76.2	86.7	85.6	82.1	76.1
株価純資産倍率 (PBR)	(倍)	1.02	0.79	0.77	0.57	0.60
株価収益率	(倍)	14.7	12.7	8.4	15.1	24.8

※2022年度の売上債権回転日数は、契約資産を含んだ2021年度の売上債権と2022年度の売上債権を用いて算出しております。



資本構成（連結）

	FY2021 (単位：百万円)	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
総資産	169,921	205,170	216,838	217,484	207,862
負債	103,551	127,780	127,292	116,451	104,077
うち有利子負債	51,350	63,150	61,984	54,577	41,540
純資産	66,369	77,389	89,545	101,033	103,784
自己資本比率 (%)	38.8	37.5	41.1	46.2	49.7
期末株価 (円)	1,416	1,277	1,463	1,206	1,309
時価ベースの自己資本比率 (%)	39.4	29.4	31.8	26.1	29.7
発行済株式総数 (千株)	50,400	50,400	50,400	50,400	50,400
1株当たり純資産金額 (円)	1,393.92	1,625.55	1,891.52	2,132.96	2,190.05

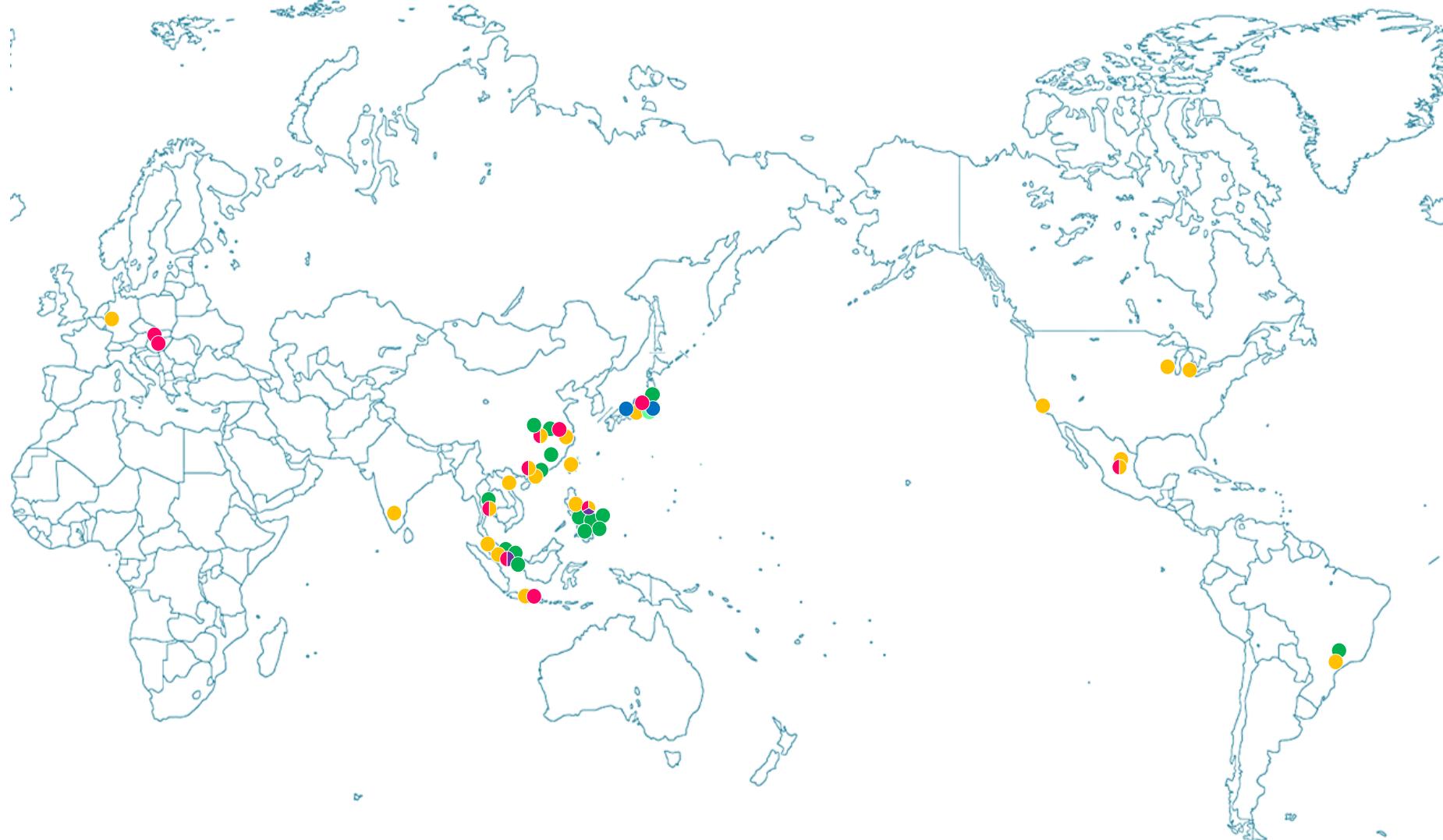


品種別売上高（連結）

(単位：百万円, %)	FY2024				FY2025			
	上期	下期	通期	%	上期	下期	通期	%
車載関連機器	98,998	98,934	197,932	62.2	93,457	95,291	188,748	65.2
産業機器	27,915	28,379	56,294	19.9	25,839	29,449	55,288	19.1
家電機器	11,957	12,817	24,774	8.6	10,603	9,482	20,085	6.9
情報機器	8,393	9,829	18,222	7.9	10,423	10,733	21,156	7.3
その他	2,095	2,997	5,092	1.5	2,592	1,622	4,214	1.5
合計	149,358	152,956	302,314	100.0	142,915	146,577	289,492	100.0



SIIIX GLOBAL NETWORK



(2025年12月末現在)

本社	21カ所
営業・物流拠点	※営業機能を持つ製造拠点含む
EMS製造子会社	11社
協力工場・その他	15社
プラスチック成形・金型	2拠点
CDMO事業	1社

他、 設計・開発 4社
部品製造 3社
機械・化学品 4社
※上記MAPには示さず

SIIX GLOBAL NETWORK – 製造拠点

(2025年12月末現在)



SIIX GLOBAL NETWORK – 営業/物流拠点

(2025年12月末現在)



SIIX GLOBAL NETWORK – 協力工場/その他

(2025年12月末現在)





免責事項

- 当資料に掲載されている情報は、シークス株式会社（以下、当社）の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、当資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、当資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 当資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 当資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。